

第3回目 勤務助産師部会「わいわいカフェ」(総会後の専門部会集会)



日時: 令和3年6月12日11時15分～12時20分

テーマ: 「EPDSどう活用していますか? ～少し点数の高い、気になる褥婦さんへの対応～」



《当日のプログラム》

1. 開会
2. 今年度の勤務助産師部会の活動予定
3. 話題提供(2名)
4. フリーディスカッションと発表
5. 次回わいわいカフェの案内・閉会

一緒に、助産師活動を
盛り上げていきましょう!
わいわいカフェで待ってます ♡



勤務助産師部会長
寺嶋智穂

《フリーディスカッション》

- ・EPDSは、2週間健診と1か月健診で活用している。
- ・EPDSは、点数化だけでなく、褥婦さんとの相談ツールとしても活用できる。
- ・EPDS高得点という先入観やレッテルを貼って、決めつけで褥婦さんに関わらないことも大切である。
- ・プライマリーで関わることで、褥婦と人間関係の構築に役立ったり、その母子の状況に適した介入方法を考えることができるなど多くのメリットがある。
- ・病院では、産後1か月以降の母子の支援に限界があるため、その後を支援するために地域で活動する助産師の存在が必要である。
- ・母子の支援は、助産師だけではなく、臨床心理士や保健師といった他職種と連携を図ることで、それぞれの専門分野で役割分担ができ、多側面から母子の支援ができる。
- ・EPDSが高得点のケースは、精神科受診が必要になる場合もあるが、全ての病院に精神科が併設されていないことも多く、その場合は近くの精神科受診が必要になる。
- ・母のメンタルヘルスの支援は、奥深いため、助産師学生の中から学習する機会をつくっていく必要がある。
- ・妊娠中は、EPDSではなく、別のスクリーニング方法を活用している。



《今年度の勤務助産師部会の活動予定》 研修会やシンポジウム開催、わいわいカフェでの会員同士の交流の場、近畿地区研修会について

次回のカフェ 8月14日予定